

ついに公開！

女性心理から逆算された、異性を
惚れさせる方法

あなた好みの女性ショップ店員
が無視できない魅力を作る、〇〇
メソッド

その全てを、3ヶ月で伝授します。

Winning The Hearts

—女心を掴む男になる、3ステップ—
(マークもつけて)

募集終了まで、あと～～

※このプログラムでお伝えする魅力構築理論は、
誰でも実践可能なものです。

このプログラムを学ぶと、

✓ **なぜ、女性に相手にされな
かったのか？**

が、分かります。

原因さえ分かれば、後はそれを**直すだけ**で現実は変わ
ります。

✓ モテない劣等感からの解放

✓ 圧倒的自信の獲得

✓ 好みの美女を選ぶ、強者としての覚醒

これらが手に入ります。

どのように、モテる男へ進化する
のか？

その方法を、本プログラムでは、

3つのステップ

を踏むことで、解説していきます。

...

ステップ1：

魅力的な男が持つマインドをマスターする。

モテる男とそうでない男の**最大の違い**は、マインド。なので、まずはそこから改善し、魅力的な男になるための、下準備をしていく。

ステップ2：

見た目演出力をマスターする。

パッと見の第一印象で、ほぼ100%、

ターゲットの女性の興味を駆り立てられるかどうかが決まる。

そのための自分の見た目をカッコよく仕上げるスキルを高めていく。

ステップ3：

対人コミュニケーション能力をマスターする。

難しいイメージがある会話だが、必要な知識と、

必要な量の実践が繰り返されれば、誰でも習得可能な力。

この極めてシンプルな3ステップを順に踏んでいったならば、

さきほど挙げた、

- ✓ モテない劣等感からの解放
- ✓ 圧倒的自信の獲得
- ✓ 好みの美女を選ぶ、強者としての覚醒

は、知らず知らずのうちに、手に入ります。

そのための、

完成されたプログラム

へ、あなたをご招待します。

...

『Winning the hearts – 女心を掴む男になる、3ステップ –』

これは、

12週間（約3ヶ月）の完全オンラインプログラムです。

<イメージ写真>

どうも、高橋りょうです。

いつも、僕からのメッセージを受け取ってくれて、
ありがとうございます。

...

あなたは、

女を惚れさせる

ことに興味がありますか？

いきなり直球の質問で警戒するかもしれませんが、安心して
ください。

気に入った女性から、いつもスル

一

されていた状態を、

いつも視線を感じる

状態にすることに、興味がありますか？

という質問です。

...

「YES！」ですか（笑）

正直でいいですね。

OK です。

このまま、話を続けましょう。

...

女を惚れさせる

要するにこれは、
自分の予想通りに、
女性を動かす、ということに他なりません。

つまり、
ターゲットの女性にとっての**魅力**を自分に宿せば、
その女性は、自分に惚れる可能性が、大きく上がる。

そうした、シンプルな話です。

...

魅力とは何か？

これは、とても難しい問いで、

人によって、さまざまな回答があると思います。

しかし僕は、魅力をこのように定義しています。

1. マインド
2. 見た目
3. 対人コミュニケーション

これら3つの要素が、ある一定レベル以上にある状態が、魅力ある状態だと。

つまり、魅力とは、

後付け可能なスキル（=技術） なんです。

3つの要素と書きましたが、

まず、「マインド」が土台としてあって、

その上に、「見た目」、「対人コミュニケーション」という2つの要素が

乗っかるというイメージです。

これが、女性にモテるための魅力を築き上げていくための全体像です。

ここを、順序正しく踏んでいけば、

女を惚れさせる

ことは、難しい話ではありません。

...

ここで、好きな女を惚れさせようと
努力して魅力を手にしようとしたけれども、
失敗してしまった

失敗例

を、1つあなたにご紹介したいと思います。

好きな女に相手にされなかった 男の話。

昔、こんな少年がいました。

中学3年生。

特別、目立った才能があるわけでもなく、
平凡な毎日過ごしていました。

そんな彼にも、
ある日、好きな女の子ができます。

その子は、顔が可愛くて、
バレーボールが得意な、すごく魅力的な子でした。

クラスが同じだったので、
少年が、たま～にその子と接点を持つことがあれば、

すぐに舞い上がってしまうぐらい、
その子のことが好きでした。

いつしか少年は、こう思うようになりました。

この子と釣り合う男になりたい

美男美女が分かりやすいイメージだったので、
見た目をカッコよくしようと、彼は思いました。

- ✓ワックスを使って髪をセットする
- ✓カッコいいと思う姿勢を取る

学校という場ですから、
服装やアクセサリなどに拘る、
といったことは、できませんでした。

その少年は、自分が思うカッコよくなる方法を
全て実行しました。

鏡に映った自分を見て、

「なんか、イケてるな。」

そう彼は、自己評価していました。

しかしある時、写真に写った自分の姿を見る機会があり、絶望します。

「俺って、こんなにパツとしない男なのか…？」

というのは、

鏡で見た自分のイメージと

写真に映った自分のイメージが、あまりにもかけ離れていたから。

人は、鏡で自分の姿を見るとき、

自分を美化して見る傾向があります。

さらに少年は、それまで

あまり気にしていませんでしたが、

少し太り気味

の体質でした。

好きな女の子は、
バレーボールを得意とするスポーツ女子なので、
顔だけでなく、身体も魅力的です。

「それに比べて自分は…」、という

劣等感

が、少年を苦しめました。

あの子と釣り合わない…

自分に対する嫌悪感が、少年を苦しめます。

好きな女の子とたま〜に話ができるとき、
これまでは舞い上がるはずなのに、

いつしか、

「こんな自分なんか…」という劣等感に囚われ、

その子と接点を持つことそれ自体に、
苦痛を感じるようにもなっていました。

それに。

少年は薄々感じていましたが、

「あの子は自分に、これっぽっちも恋愛感情はない」
という、残酷な事実も自覚していました。

彼の密かな望みは、

「自分が、気になっているのと同じくらい、
あの子にも、自分を気にさせたい。」

相思相愛の**関係**に憧れていたのです。

そして、

「あわよくば…付き合うなんてことになれば、最高だな」と。

少年はシャイな性格もあり、

告白して「付き合ってください！」とは言えないタイプでした。

こちらに引き寄せて、

確実にゲットする。

ぶつかってアタックするよりも、

頭の良いやり方で、アプローチすることを理想とする恋愛観でした。

彼が一番気にしていたのが、「太っている」ことだったので、

見た目を改善しようと、何度もダイエットに挑戦しましたが、
成功しないまま、中学卒業を迎えます。

その女の子とは、
高校進学は別々になってしまったので、

それから関わることはありませんでした。

「今頃、あの子どうしてるだろう…？」

少年は、一途な性格でもあり、
いつか再会を夢見ながら、高校生活を過ごしていました。

…

時は経って、やがて少年は 20 歳の青年に成長しました。

かつてコンプレックスだった、太り気味の体質も改善し、
スラっとした体型を手に入れました。

そんな時、再会の機会が訪れます。

成人式です。

当日、会場に着き、

会場の玄関で、多くの同級生が
スーツ姿や、着物姿で屯（たむろ）しています。

青年は、中学の頃から、
ずっと好きだったあの女の子を探しました。

すると、それらしき女性を見つけました。

成人式用のメイクと、着付けをしていたので、
少し疑いがありつつも、

青年は、「間違いない」と思いながら、
かつてクラスメイトだったこともあり、
話しかけても不自然ではないだろう、と自分に言い聞かせ
ながら、

勇気を振り絞って、その子に話しかけます。

「〇〇さん、久しぶり」

一瞬、その子は固まります。

「あ、高橋くんか。久しぶり」

クールな返しでした。

あまり熱が上がらないその空気に、
どう対応すればいいのか分からないまま、少し間が空きます。

すると、

「あ、〇〇ちゃん久しぶり！」

と、その場を去る口実を見つけたかのように、
その子は、青年の元から去っていきました。

全く相手にされなかった。

その現実が、青年を深く傷つけました。

勇気を振り絞って話しかけたまではよかったものの、そこからの対応がマズかったと、青年は自分を責めます。

というのは、

それまで、自分の見た目をよくすることばかり考えていて、女性との会話のスキルは、てんで低かったのです。

...

それから5年後、その子と再会する機会がありました。

お互い、25歳になる年です。

その子は、小さな子を抱っこしていました。

結婚して、子どもを産んでいたのです。

「結婚してたんだね。おめでとう！」

ぜんぜん思っていないことを口走りました。

青年は、失恋の痛みを痛感します。

それからは、かつて好きだった女の子と
関わることは、一切ありませんでした。

...

もうお察しかもしれませんが、
これは、僕自身のリアルな過去の体験です。

辛い過去ではありましたが、
しかし、多くの学びを得ることができました。

まず、

好きな女性を振り向かせたかったら、

女性を理解すること

が、何より大切です。

過去の僕は、基本的に、

自分のことだけしか見ていない

節が見受けられました。

✓ 相手と比べて、自分は、ファッションセンスがない
だから、ワックスをつかって髪型を整えよう

✓ 相手と比べて、自分は、太っている、釣り合わない
だから、痩せよう

自分を改善しようとする動き
それ自体は、悪いわけではありません。

見た目を良くすることは、
女性の興味を引きつけるために、とても重要なことです。

しかし、それだけでは、

不十分

だったんですね。

過去の僕の最大のミスは、
相手を知ろうとする動きが、ほとんどなかったことです。

- ✓ 相手は、何が好きなのか？
- ✓ どうされると、嬉しいのか？

それらを会話の中で、上手に訊き出さなければいけません。

ここが、僕には欠けていたんですね。

そのために、会話上手になる必要がある、と。

その会話のスキルを向上させるために、
土台として、まず、

女性を理解すること

が、不可欠です。

- ✓ 女性とは、こういった思考パターンを持っていて、
- ✓ こういった男性を好きになる。

そうした前提知識を身につけていると、
女性と仲良くなるための会話も、自然に習得できるようになります。

これが、相手を楽しませる会話へと繋がっていきます。

僕の会話スキルが低かったのは、
そもそもの「女性理解」という土台がゴツソリ抜け落ちて
いたためです。

自分基準で考えると、上手くいかない

これは、恋愛だけの話ではないですが、
人間関係を良くするためには、

相手のことをよく知る必要があるのです。

その上で、

どんな接し方をすれば、相手は喜ぶのか？

この問いに対して、

より多くの適切な答えを持っている人間が、モテます。

今回、あなたに提案させていただくプログラムは、

女性心理の教科書

としての役割を担っています。

そして、知識を実践していくための方法も、
惜しみなく解説しています。

くやしい思いをした

あなたにこそ学んでほしい

この文章を書いている僕自身は、
現在、31歳になります。

かつての不甲斐ない自分を変えて、今では、

気になる女性を、逆に、気にさせて、
こちら側に引き寄せるスキルを手に入れることに成功して
います。

それは、このプログラムで講義している、
魅力を構成する3つの要素、

要素1：マインド

要素2：見た目演出力

要素3：対人コミュニケーション能力

これら3つを、必要レベルまで高めているからです。

自分を鍛え上げようと思ったのは、
過去に自分の不甲斐なさを、嫌というほど痛感したから。

あの失恋の体験が、今の僕を
力強く下支えしてくれています。

...

これは、僕の情報発信の根幹でもあるのですが、

ネガティブな気持ちというのは、一見良くないものと捉えられがちですが、実は、自分自身を変革させるための、

すごく貴重なエネルギー源なんです。

過去の自分を断ち切る

この強い気持ちが芽生えるためです。

それは、あなたが望む現実を引き寄せます。

そのための理論と実践方法を、

僕は、あなたに提供することができます。

だから、これを読んでくれているあなたには、
一時的に今の自分が嫌いになることはあっても、

見捨てるようなことはしないでほしい。

俺の人生、こんなもんじゃない！

この気持ちを少しでも持っているなら、

ぜひ、僕の『Winning The Hearts』に入ってください。

タイプの女性を惹きつける魅力とは、

生まれ持った才能ではなく、後付け可能なスキルです。

それを手に入れたなら、

こんな現実が、あなたを待っています。

- ✓ 揺るがない自分の哲学を持った生き方ができる
- ✓ 手が届かないと思っていた美女も、大したことなく見える
- ✓ あなたと友達になりたいと思う人が増える
- ✓ 女性から性的に求められる男になる

✓ 人の感情が手に取るように分かる

街で、タイプの女性と出会ったときも、冷静さ保ちながら、
落ち着いてその女性と関わることができるようになります。

...

よく、参加を検討している人から、

「プログラムについていけないでは、と心配です」

「こんな僕でも、参加する資格があるでしょうか」

「正直、変われる自信がありません」

といったメッセージを、よくもらいます。

そんなあなたに僕からのアドバイスを。

少しでも不甲斐ない

自分を変えたい気持ちがあれば、

大丈夫

だということです。

僕は、

向上心のあるあなたを歓迎します。

プログラム内で語られていることは、極めてシンプルなことの連続です。

理解するのが難しい、

高校や、大学のような授業ではありません。

僕の講義の中で語られているシンプルを、無数に繋いでいき、

一つのストーリーとして、あなたが自分の中に落とし込め

ば、

強力な武器になります。

その武器こそ、女性を惹きつける魅力です。

魅力を身につけると、

「どうにかして、あの子に気に入られたい…」

と焦ることもなくなります。

自然に、相手の方から興味を持つようになるからです。

すると、

「自分好みの美女も、大したことはないな。」

という、余裕が生まれます。

こうなると、モテの好循環です。

ここで、もう一つ事実をお伝えします。

魅力は**計算的に**作ることが可能

例えば話ですが、マンションを建設する時、
闇雲に作業するのではなく、

予め設計図を作り、
それに沿って建設作業に移るのが普通ですよ。

魅力を作る場合も、全く同じです。

要するに、このプログラムは、魅力を構築するための

設計図

だということです。

繰り返しになりますが、女性を惹きつける魅力は、決して生まれ持った才能ではありません。

正しい知識を仕入れて、それらを消化し、実践することで誰でも身につけることができる再現性のあるものです。

だから、安心してください。

...

これは、少し壮大な話ですが、、、

僕は、世の中に、「いい男」を増やしたい、と密かに思いながらこの活動をしています。

なぜか？

僕は、これまで、いろいろな女性を見てきました。

知っていますか？

女性は、男性よりも圧倒的に

「時間」というプレッシャーと闘いながら生きています。

その大きな理由の一つが、

出産

です。

今でこそ、そう言われなくなりましたが、

1980年代では、30歳で高齢出産とされていたんですね。

ほとんどの女性が、20代の内に結婚して、子どもを産む。

それは、体力に富んだ若いうちの方が、

流産のリスクが減るからです。

さらに、女性は、

生まれた時点で 卵子の数が決まっている

と言われていています。

そう考えると、

20代後半で、まだパートナーを見つけられてない女性は、かなりの時間のプレッシャーと闘いながら生きているハズです。

故に、

✓ 早く理想の男性と出会いたい

でも、

✓ 身の周りは、パツとしない男ばかり…

この理想と現実の間で、表情に出さずとも苦しみながら生きている女性を、

これまで、たくさん見てきました。

中には、

「年下の男を捕まえて、いい男に育てる」なんて、
すごく男前なことを言う女性もいましたが、

そんな人は、少数派です。

多くの女性は、

魅力的な男との出逢いを求めて

いる。

これが、女性側のニーズです。

だから、

僕たち男が、魅力的な男へ進化することは、

自分にとってはだけでない、大きな価値があるのです。

ここを達成すれば、

僕らの人生が変わると同時に、

女性が救われることにも、繋がります。

魅力的な男が増えていけば、

女性も出逢いに恵まれて、

みんなハッピー

になれます。

そう。

モテは正義

なんです。

魅力的な男は、女性だけでなく、
多くの人から必要とされます。

僕ら男は、自分と女性のために、
魅力的な男へと進化しなければいけません。

...

とは言うものの、これはかなり壮大なイメージで
地に足の着いていない話かと思われるかもしれませんが、
原理的には、そうだと理解できますよね？

もし、僕らみたいに、

「魅力的な男になる」ことを、生きる上での

揺るぎない指針の一つとして持っている男性が、
世の中に増えたら、

もっと生きやすい素敵な世の中になっていくと思うのです。

僕は、そうした人材を育てる、
数多くいる教育者の中の一人で在りたいと思っています。